

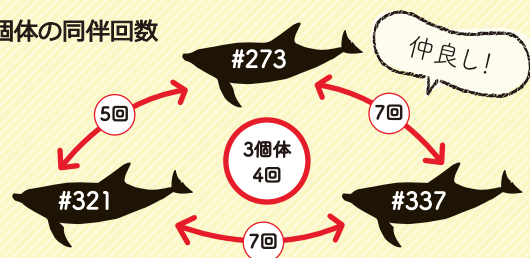
## ミナミハンドウイルカの個体識別調査結果（2021年）

今号では、2021年に実施したミナミハンドウイルカ個体識別調査の結果をご報告します。2021年は、嫁島周辺海域3回、父島周辺海域36回、母島周辺海域2回の調査を行い、皆様からご提供いただいたデータと合わせて、のべ99個体を識別することができました。14個体が新たにデータベースに登録され、累計識別個体数は294頭となりました。2021年の話題としては、2020年に引き続きハシナガイルカの子どもを連れたミナミハンドウイルカが観察されたことや（イルカ通信No.103参照）、これまでずっと父島列島で確認されていた個体が母島列島や嫁島海域で確認されたことがあげられます（イルカ通信No.104参照）。貴重な情報やデータをご提供くださった皆様に、改めて御礼申し上げます。2022年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



～もっとも出会えたイルカたち～

3個体の同伴回数



18回

#273 モグオ  
オス  
Sub-Adult



初確認は2011年。2020年までは父島列島海域のみでの確認でしたが、2021年夏に初めて母島列島の嫁島海域で確認されました。左右の口元に切れ込みがあり、左側にはミミエボシというフジツボの仲間が付着しているのが特徴です。ミミエボシが付着し始めたのは、2014年頃から。新たに背ビレにも目立つ欠損ができたため、船上からの識別も可能です。



15回 ※2個体



#321 Bライン  
オス  
Sub-Adult

初確認は2014年。これまで父島列島海域でのみ確認されています。識別のポイントは、体の右側に入っている黒いライン。背ビレの真ん中あたりが少しだけ欠けていますが、船上から識別するのは難しいです。母親は#59（ペロちゃん）です。



#337 凹み君  
オス  
Sub-Adult

初確認は2017年。これまで父島列島海域でのみ確認されています。一番の特徴は、背中の後方にある深い凹み。背ビレの真ん中あたりに欠損があるため、船上からの識別も可能です。欠損の位置がモグオと似ているので、見間違えに注意です。



## クジラの陸上観察会のお知らせ

ザトウクジラの来遊シーズン中、おがさわら丸入港日の夕方にウェザーステーション展望台にて「クジラの陸上観察会」を実施予定です。ご興味のある方、ご参加お待ちしております。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、開催予定が変更となる場合がございます。最新情報につきましては、OWA HPをご確認ください。

場所：父島 ウェザーステーション展望台

日程：2/19以降のおがさわら丸入港日～4月上旬予定。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により変更可能性あり。

詳細はOWAHPをご覧ください。

時間：16時～17時

参加費：無料

※ご参加にあたっては、感染症対策にご協力をお願いいたします。

※天候・海況不良の場合は中止となります。



Twitterでザトウクジラ定点観測の結果をお届けしています！

OWA公式Twitterアカウントを開設しました！ザトウクジラの来遊シーズン中、ウェザーステーション展望台から実施しているザトウクジラ定点観測について、その日の結果速報をお届けしています。ぜひチェックしてみてください！

